

講義名	英語B (グローバル)			授業形態	
担当教員	クリストファー・ニューワーフ		開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限	
	単位数	2	履修開始年次	1年生	ナンバリング・コード ENG122

主題と概要

・対面授業
 ・基礎レベルの復習を通して中級レベルの英語力を習得します。授業では、時事的なトピックを題材に、リスニングとスピーキング、論理的思考のスキル向上を目指します。その日に習得するフレーズを確認、反復練習を行い、実践演習を行うことにより学んだ表現を自然と話せるように指導します。日常的な状況だけでなく一般的な話題や、より複雑な状況での英語コミュニケーション能力の向上を目指します。

到達目標

・アカデミックかつ日常的に必要な基本的な語彙の復習と中級レベルの表現力の習得
 ・様々な状況での英会話のリスニングとスピーキング、論理的思考のスキル向上を目指します。
 ・日本国内外の日常生活および国際的な学術環境においても、卒業後を見据え、仕事で使える英語力を身に付けられるよう演習します。

提出課題

授業内でアナウンスします。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業内で講評・解説などを行います。

評価の基準

出席状況、授業中の活動状況、課題など平常点を60%、セメスタ・末の最終試験（定期試験）を40%として総合的評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

教科書は必ず購入の上、授業に参加するようにしてください。教科書を授業に持参しなかった場合、毎回減点対象になります。
 英語の習得には、継続的な努力・学習が必要ですので、毎日の学習習慣を身に付けることが重要です。また、授業の出席も非常に大事ですので、遅刻・欠席が無いように努めてください。
 このコースでは、学生の積極的な授業参加が求められます。講師や学生と授業に對話訓練としてのアクティビティを行い、学んだ英語を身に付けます。授業は英語のみで行い、日本語の発言は禁止です。授業中の積極的な参加態度を成績として評価しますので、練習の際の発言する努力とできる限りの積極的な参加が重要です。授業中は、クラス全員が一様に学んでいます。お互いに理解するのを助け合ひましょう。一人で学ぶよりは、みんなで一緒に学ぶ方が、学習効果が促進されます。

教科書

.Pathways: Listening, Speaking, and Critical Thinking, Second Edition Foundations.	Becky Tarver Chase, Christien Lee, Paul MacIntyre, Kathy Najafi, Gyndy Fettig	National Geographic Learning	3927	9781337562508
--	---	------------------------------	------	---------------

参考図書

その他

・教科書の価格が変更となる可能性がございます。
 ・プリント資料及び参考文献は必要に応じて授業中に指示します。

授業計画

1. Course orientation: Unit 1: Same and different (sociology) pages 1-11
2. Unit 1: Same and different (sociology) pages 14-20
3. Unit 2: Love your job (career studies) pages 21-23
4. Unit 2: Love your job (career studies) pages 34-42
5. Unit 3: Unusual destinations (geography/tourism) pages 42-51
6. Unit 4: High tech, no tech (technology) pages 61-71
7. Unit 4: High tech, no tech (technology) pages 74-80
8. Unit 5: Risk and Reward (psychology) pages 81-91
9. Unit 5: Risk and Reward (psychology) pages 94-100
10. Unit 6: High taking action (environmental science) pages 101-111
11. Unit 6: High taking action (environmental science) pages 114-120
12. Unit 7: Lost and found (history/archaeology) pages 122-131
13. Unit 7: Lost and found (history/archaeology) pages 134-140
14. Unit 8: Breakthroughs (health science) pages 141-151
15. Unit 8: Breakthroughs (health science) pages 154-160

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/> A: PBL (課題解決型学習)	<input type="checkbox"/> I: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="checkbox"/> U: ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> E: グループワーク
<input type="checkbox"/> O: プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> C: 実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> K: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

宿題や課題、教師が選んだすべての課題を行うこと (1時間)
 復習・前の授業の内容を読み、まとめて下さい。不明な語彙や文法は必ず調べ、発音練習をすること。 (1.5時間)
 予習・次の授業までに、不明な語彙などを調べ、まとめておくこと。使い方などは積極的に講師に質問して下さい。 (1.5時間)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

基礎や課題の復習を通して中級レベルの英語力を修得する。時事的なトピックを題材に、リスニングとスピーキング、論理的思考のスキルを向上させる。また、より複雑な状況での英語コミュニケーション能力も向上させる。これにより、卒業時に身につけておくべき基礎的・能力の育成につながる。これらの能力は、商学部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識、経済学部生に求められる社会の諸問題を幅広い観点から考察、分析する力、人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
